

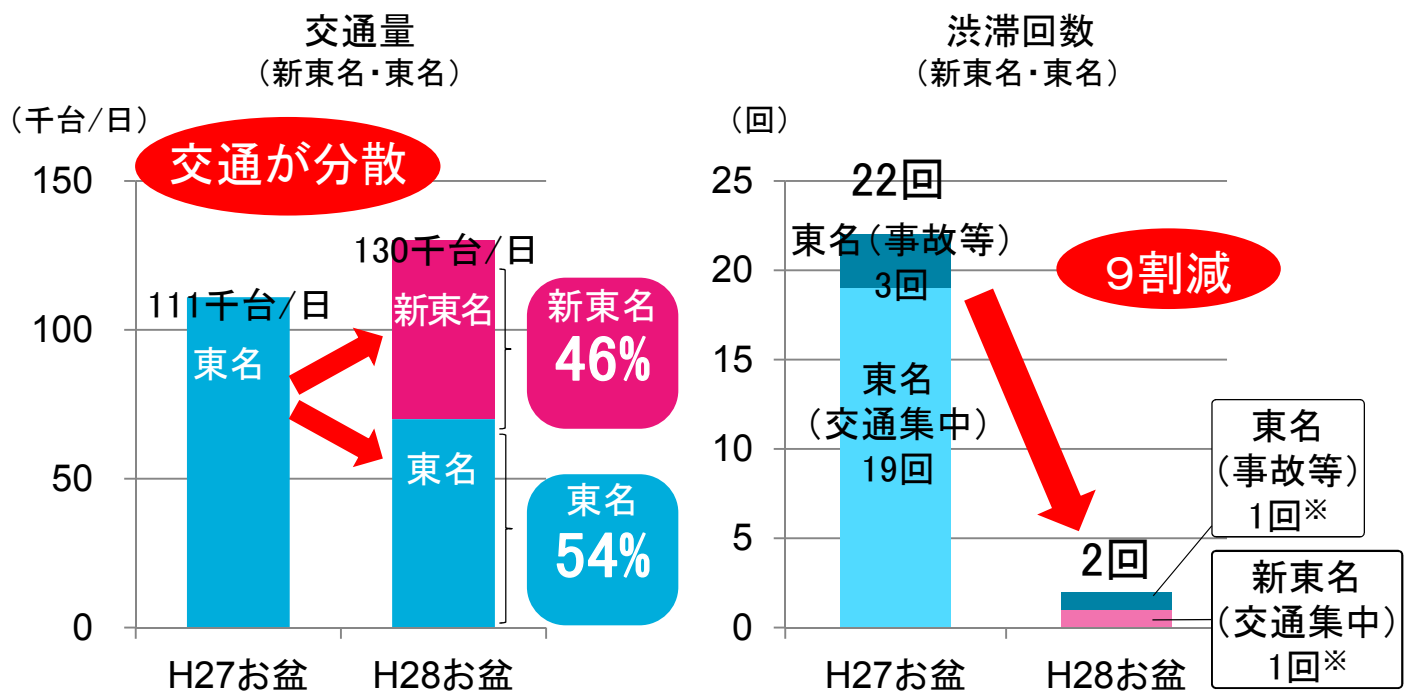
《トピック2》 新東名高速道路の開通効果

○新東名（豊田東JCT～浜松いなさJCT）の開通により、東名の交通が分散（東名：54%、新東名46%）
 ○東名・新東名の交通量は、約130,000台で、昨年同時期に比べ17%増加したが、
 10km以上の渋滞回数は、大幅に減少
 （H27お盆 22回→H28お盆2回（うち東名：1回・新東名：1回）【9割減】）

■新東名・東名高速道路 位置図



■新東名開通後の交通量・渋滞回数〔お盆期間〕



※ 新東名の交通集中渋滞は、同日（8/13）に東名で発生した事故渋滞に伴う迂回交通によるもの
 (注) 渋滞の定義〔お盆期間〕：速度40km/h以下の状態が、1km以上かつ15分継続した状況で最大渋滞長が10km以上